職員用グランドデザイン

令和7年度 上田市立川辺小学校グランドデザイン

［長野県教育の目指す姿］
〇個人と社会のウエルビーイングの実現
～ 一人ひとりの「好き」や「楽しい」「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び ～

学校教育目標

たくましく かしこい子どもの育成

【めざす子どもの姿】
〇深く考え取り組む子ども ［知］
〇思いやりのある子ども ［徳］
〇健康でがんばりのきく子ども ［体］

［上田市教育大綱］
燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり
〇確かな学力を養う
〇ふるさと「上田」を愛する心を育む
〇未来を切り拓く力を養う

［児童の実態（よさのとらえ）］
・素直に諸活動に取り組める。
・一生懸命、話を聴こうとする。
・言われたことにまじめに取り組む。
・前向きな気持ちをもっている。

［地域・保護者の願い］
・友だちの考えも大切にし、主体的に学ぶことができる。
・誰にでも明るく挨拶ができる。
・健康で元気に活動できる。

【本年度の重点】 合言葉「さぁ、つながろう！」
「互いに認め合える、居心地のよい学校づくり」

かんがえよう
〇自分の考えをもとう
〇最後まで話を聴こう
〇進んで伝え合おう

つながろう
〇心のこめて あいさつをしよう
〇歌声をひびかせよう
〇相手を思いやる気持ちをもとう

やりぬこう
〇最後まであきらめずに取り組もう
〇元気に からだを動かそう
〇時間いっぱい無言になるそうじをしよう

自ら考え 共に学び合える学校

◎「多様な見方・考え方」をつなぐ

1 全校研究テーマ
すべての子どもが「わかる・できる」を実感できる授業づくり
～ 目で見て はっきり あたたかく ～

2 「児童理解」を中核に据えた授業改善
(1) 安心して学び合える環境づくり
①授業のUD化(視覚的・具体的・肯定的)「川辺小UDスタンダード」
② MIMを利用したｱｾｽﾒﾝﾄの実施と教材研究
(2)「主体的・対話的で深い学び」の実現
①「教師主導型の授業」からの脱却
② 「問い」のある授業
③ 学習形態の工夫（ペア・グループ等）
④「相手意識」「伝え合う力」の育成
(3)「学年内授業交換・教科担任制」の工夫

3 基礎・基本の定着
(1) ドリル学習や家庭学習・自主学習の充実
(2) ＩＣＴを活用した教育活動の充実

4 職員研修の充実
(1) 日々の授業を気軽に見合い学び合う

のびのびと表現し合える学校

◎「思いや願い、気づき」をつなぐ

1 「児童理解」を中核に据えた学校づくり
(1) お互いに認め合える関係づくり（人権感覚）
・子どもたちの「心の声」に寄り添い安心できる人間関係づくり(Q-U等の活用)
(2) 児童と職員が一体となって楽しむ行事づくり
(3) 通常学級と特別支援学級との連携
(4) 心を伝える「あいさつ」「あたたかい言葉」「アサーション」
(5) 歌声が響く学級・学校

2 「相談活動」の充実
(1) 児童と向き合う時間の確保…相談旬間など
(2) 「相談窓口」の周知と活用
(3) 学級担任・生徒指導・特コ等との日常的な連絡調整→迅速な「チーム対応」

3 家庭や地域、外部関係機関との連携
(1) 家庭や地域・CS等との連携
(2) 教育相談所・SC・SSW等との連携

4 職員研修の充実
(1) 職員の資質向上を目指した研修の充実
(2) 「ちょこっと研修」の充実

仲間や地域と共に創り上げる学校

◎「一人ひとりのやる気」をつなぐ

1 自分たちでつくる児童会・行事
(1) 仲間意識を育てる登校班
(2) お互いを知り、「縦横のつながり」を大切にした交流活動
(3) 児童会や行事等の企画・運営
(4) 学校生活の課題を自分たちで解決しようとする活動(挨拶・清掃、等)

2 地域を知り 地域から学ぶ
(1) 地域から学ぶ
・遠足、地域探検、社会見学、等
・地域素材の教材化→学びの共有
(2) 地域の方々から学ぶ
・米作り、歴史講演会、クラブ、等
(3) 地域との交流…福祉施設、保育園等

3 地域連携 …健康・安全・安心づくり
(1) 家庭や地域と連携した「食育・情報教育・保健教育」等の充実と発信
(2) 危険箇所の確認と安全マップづくり
・自分の命は自分で守る

【評価するための検証方法】（達成目標と検証時期）
〇ＵＤをベースに重点研究部会を据え，自己目標を設定し，振り返りや検証を行う（各学期）
〇国語と算数の単元テストで，全国平均と比較を行い，指導の見返しを行う（通年）
〇児童・保護者アンケート「学校が楽しい」「授業が分かりやすい」で 90%以上を目標に取り組み、振り返りを行う（学校評価アンケート 年２回）